

# 建築設備を文化に高める

11月18日は「建築設備士の日」。設備の専門技術者である「建築設備士」を広く知ってもらうため、建築設備技術者協会が制定した。国土交通省が建築設備士資格者の告示をた日にちなんでいる。毎年この日に合わせて各地で記念事業が開かれている。東京では20日、東京都港区の芝浦工業大学

## 11月18日は「建築設備士の日」

で同協会主催の記念講演会と祝賀会が行われる。日刊建設通信新聞社は、建築設備士の資質向上を図るために、ライター藤島大氏を交えて、野部達夫建築設備技術者協会会長、那須原和良副会長、那須原和良副会長に組織のあり方、仕事の進め方、人材育成手法などをテーマに議論してもらった。

**野部** われわれは建築設備技術者の団体で会員数は約9000人います。建物全体を例えれば、われわれが担うのは目や鼻、感覚器、内臓などに当たります。緑の下で支える存在ですが、少しずつ個人の多前や顔が表に出始めました。2019年に日本ラグビーのワールドカップが開催されます。ラグビーは1チーム15人で試合を戦いますが、周りに大勢の支える人がいて成り立つという構図は、建築設備におけるわれわれのポジションと似ているのではないかと思います。

**藤島** ラグビーには人も不要な人がいません。私が尊敬する早稲田大学と日本代表の監督を務めた大西鐵之祐さんの采配は、「大西魔術」と呼ばれました。小さな子どもが本人の秘密を聞いたところ、「私はそれぞれのポジションを、つまり順番に選ばない。会社でもみんなが社長になるような会社はつぶれる。辛抱強い経理や足を棒にする営業がいて、何でもできる人は5人くらい。でも、大概のコーチはうまくいって、選び」という話を思い出しました。

**野部** それはとてもいいお話ですね。会社を経営する立場からはどうですか。

**那須原** うちの会社でも「雑事という仕事はない」と、いわゆる雑用みたいな仕事はないと代々言われてきました。やっていることには必ず意味があり、その社員にも必ず役割がある。それにしっかりと取り組んで



一般社団法人建築設備技術者協会 副会長  
**那須原 和良氏**



一般社団法人建築設備技術者協会 会長  
**野部 達夫氏**



スポーツライター  
**藤島 大氏**

**未知の問題を突破**  
野部 ラグビーの試合では15人が1つの人格で動いているように見えます。監督も選手も一人格に集約されるのでしょうか。

**藤島** いい指導者やキャプテンがいる強いチームは、まさにそのとおりです。国立高校のコーチ時に「練習は環境だ」と考えました。少しずつ慣れさせるのではなく、「ここに入ったら、こうだ」ということを初日から徹底しました。

**野部** 大学の立場から見ると企業ごとにキャラクターが異なります。学生が就職すると、そのキャラクターに変わっていきます。

**藤島** 単位が小さな高校の場合はすぐに染まりますが、名門大学や実業団など大きな組織になれば時間が必要です。その意味では創設時のメンバーの気持ちや姿勢が重要です。私はスポーツを見るのが好きですが、大抵のものは「際」にあります。建築なども同じですが、芸術性や利便性の一方に傾いてもつまらない。両方のギリギリのところ、言葉にするのが難しいところ、そこが醍醐味です。

**那須原** 20年以上地域の小学生にミニバスケットボールを教えています。子どもは入れ替わりりますが、チームカラーは、代々受け継がれていることを実感しています。

**藤島** グラウンドにたくさんいるチームがいても、強いチームは、その立ち振る舞いからすぐに見分けられます。そんな集団をつくりたいし、

それがスポーツの理想です。スポーツ界で不祥事が起こると「体育会による勝負への執着が悪い」と言われますが、スポーツは勝利を目指すから楽しいのです。

**野部** 指導者も指導される側も喜怒哀楽の振幅が大きい練習や試合を通じて経験してきた。その安心感が根底にあるはずですが、それが理解されていないわけですね。

**藤島** 私は体罰には絶対反対で、良いコーチは体罰がなくてもいい指導ができる。ただ猛練習はときには求められる。心が激しく動くときには変わります。国立高校のコーチのころは、進学校にも関わらず、全国大会出場、という目標を絶対に譲りませんでした。春の大会が終わっても3年生は受験勉強のために引退せず、秋の大会に向けて、全員が残りました。なかなか勝てない中、一居残り練習をどうしようかとキャプテンを中心に議論し、「自主的に練習を出しつづける」と彼らなりに結論を出しました。受験勉強とは違う答えがない未知の問題を自分たちで突破した「知性」を見た瞬間でした。ラグビーはチームスポーツなので、その集団にいろいろな立場の人がいます。それを解決して乗り越える。これがスポーツのすばらしいところ

**野部** そのような議論がいろんなところでできるような方がいいですね。大西先生の逸話の中で、ジャズテイストの「フェアネス」という言葉が印象に残っています。

**藤島** それは建築設備の仕事にも関係すると思いますが、効率性と良心の狭間で、まさに「際」がある。

**野部** そうですね。フェアネスがある人は、自分で考え、行動し、強烈なやり取りができる。最近では、マニアルやコンプライアンスの基準がないと判断できない人が増え、人間力が失われています。学生は多感なので雰囲気にも敏感です。単なる「業」ではなく、フェアな感受性を育ててほしいと思います。

**那須原** 私が指導している子どもたちも、はじめは「何をしたらいい」と聞いてきます。私は必ず「自分で考えてごらん」と投げ返します。そうしたり取りがなま成長すると、社会人になっても「指示待ち」にならないうえです。

**野部** 建築業は一人ひとりの力がある人が多いと思いますが、このままでは規範通りに動くロボットみたいな人ばかりになる可能性があります。

**藤島** ルーチンワークが多いほどなにかありません。

**藤島** 大西さんがフェアネスとジャズテイストについて学生に教えたことを要約すると「合法か非合法かの上に、きれいaka汚いかがあり、きれいかという感覚に従って動く」といっています。ラグビー

**野部** 大西さんに代表されるようにラグビーは、泥だらけの哲学の塊です。かつては建設業にも哲学がありました。戦後の焼け野原から立ち上がったときに大きく膨らみ、いまは成熟期を迎えました。ただ、成長期のエンジンが止まると、いろいろな矛盾が生じます。フェーズの変化を誰も社会のデザインに生かしていません。

**藤島** さきほどの未知の問題を突破していくところにテーマがあると思います。ただのガラパゴスでは負けるでしょう。私が知る水泳の指導者は、日本人ならではの戦い方を極める。自分で海外から最新の文献を取り寄せ、その指導法を学びました。でも世界の知っていることが大事なんです。建設業も未来を語るべきに過去は大事だと思います。

の試合では30人の選手を1人のレフリーが裁くため、見えないところで合法的に相手を傷つけることもできます。これも大西さんが「倒れている選手がいれば、少しだけ力を緩める。闘争の最中にも人は踏みどまれる。それを学ぶのだ」と言っていました。これはビジネスの世界でも成り立つことだと思います。

**野部** 日本がグローバル・スタンダードの流れに取り残されています。ガラパゴス化が取り沙汰されていますが、風土によって価値観が異なることは建設業の特徴でもあります。その一方、海外からオープンに資金や人材を募るグローバル化の動きもあります。そうすると日本の建設業がそれこそ長い時間掛けて築いてきた「おんの呼吸」つまりチームワークが失われ、本末転倒だとも思っています。

**藤島** そが「際」なんですよ。

**野部** 大西さんに代表されるようにラグビーは、泥だらけの哲学の塊です。かつては建設業にも哲学がありました。戦後の焼け野原から立ち上がったときに大きく膨らみ、いまは成熟期を迎えました。ただ、成長期のエンジンが止まると、いろいろな矛盾が生じます。フェーズの変化を誰も社会のデザインに生かしていません。

**藤島** さきほどの未知の問題を突破していくところにテーマがあると思います。ただのガラパゴスでは負けるでしょう。私が知る水泳の指導者は、日本人ならではの戦い方を極める。自分で海外から最新の文献を取り寄せ、その指導法を学びました。でも世界の知っていることが大事なんです。建設業も未来を語るべきに過去は大事だと思います。

**野部** 大西さんに代表されるようにラグビーは、泥だらけの哲学の塊です。かつては建設業にも哲学がありました。戦後の焼け野原から立ち上がったときに大きく膨らみ、いまは成熟期を迎えました。ただ、成長期のエンジンが止まると、いろいろな矛盾が生じます。フェーズの変化を誰も社会のデザインに生かしていません。

**藤島** さきほどの未知の問題を突破していくところにテーマがあると思います。ただのガラパゴスでは負けるでしょう。私が知る水泳の指導者は、日本人ならではの戦い方を極める。自分で海外から最新の文献を取り寄せ、その指導法を学びました。でも世界の知っていることが大事なんです。建設業も未来を語るべきに過去は大事だと思います。

「際」が大切になる

野部 そのような議論がいろんなところでできるような方がいいですね。大西先生の逸話の中で、ジャズテイストの「フェアネス」という言葉が印象に残っています。

藤島 それは建築設備の仕事にも関係すると思いますが、効率性と良心の狭間で、まさに「際」がある。

野部 そうですね。フェアネスがある人は、自分で考え、行動し、強烈なやり取りができる。最近では、マニアルやコンプライアンスの基準がないと判断できない人が増え、人間力が失われています。学生は多感なので雰囲気にも敏感です。単なる「業」ではなく、フェアな感受性を育ててほしいと思います。

那須原 私が指導している子どもたちも、はじめは「何をしたらいい」と聞いてきます。私は必ず「自分で考えてごらん」と投げ返します。そうしたり取りがなま成長すると、社会人になっても「指示待ち」にならないうえです。

野部 建築業は一人ひとりの力がある人が多いと思いますが、このままでは規範通りに動くロボットみたいな人ばかりになる可能性があります。

藤島 ルーチンワークが多いほどなにかありません。

藤島 大西さんがフェアネスとジャズテイストについて学生に教えたことを要約すると「合法か非合法かの上に、きれいaka汚いかがあり、きれいかという感覚に従って動く」といっています。ラグビー

一般社団法人  
**建築設備技術者協会**  
会長 野部 達夫  
〒105-0004 東京都港区新橋6-9-6(12東洋海ビル7F)  
電話(03)5408-0063  
ホームページ <http://www.jabmee.or.jp>

一般社団法人  
**日本空調衛生工事業協会**  
会長 長谷川 勉  
〒104-0041 東京都中央区新富2-2-7(空衛会館3階)  
電話(03)3553-6431(代)

一般社団法人  
**日本電設工業協会**  
会長 後藤 清  
〒107-8381 東京都港区元赤坂1-7-8  
電話(03)5413-2161(代)

一般社団法人  
**日本設備設計事務所協会連合会**  
会長 西田 能行  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-10-2(みききBLD)  
電話(03)5276-1381  
ホームページ <http://www.jafmec.or.jp>

一般社団法人  
**電気設備学会**  
会長 石井 勝  
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-6(堀留セネラルビル3階)  
電話(03)6206-2720  
FAX(03)6206-2730

一般社団法人  
**東京電業協会**  
会長 江川 健太郎  
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-7-8  
電話(03)3403-5181(代)

一般社団法人  
**大阪府設備設計事務所協会**  
会長 加地 正和  
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10(長堀堂ビル)  
電話(06)6245-9487  
ホームページ <http://www.oef.or.jp>

一般社団法人  
**東京都設備設計事務所協会**  
会長 市村 充  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-6(協和ビル3階)  
電話(03)5276-1400  
ホームページ <http://www.met.gr.jp>

一般社団法人  
**建築設備総合協会**  
会長 秋元 孝之  
〒108-0044 東京都港区芝5-2-6-20 建築会館6階  
電話(03)5445-4266  
ホームページ <http://abee.or.jp>

一般社団法人  
**愛知県空調衛生工事業協会**  
会長 石原 彰久  
名古屋市中区錦1-7-31(山田ビル3階)  
電話(052)253-7837  
ホームページ <http://www.aikuei.com/>

一般社団法人  
**大阪空気調和衛生工業協会**  
会長 古新 亮英  
大阪市中央区安土町1-7-20(新トヤマビル3階)  
電話(06)6271-0175(代表) FAX(06)6271-0177

一般社団法人  
**大阪電業協会**  
会長 前田 幸一  
〒530-0055 大阪市北区野崎町9-8(永楽ニッセイビル5階)  
電話(06)6363-4077  
ホームページ <http://www.osdenkyo.or.jp/>

一般社団法人  
**東京空調衛生工業会**  
会長 黒田 英彦  
〒104-0041 東京都中央区新富2-2-7(空衛会館)  
電話(03)3553-6711

SHINRYO  
**新菱冷熱工業株式会社**  
さわやかな世界をつくる  
本社 東京都新宿区四谷二丁目四  
代表取締役 加賀美 猛

SNK  
**新日本空調株式会社**  
人と空気と環境と  
本社 東京都中央区日本橋浜町二丁目二  
代表取締役 夏井 博史  
電話(03)3639-1270(代)

SANKEN  
**三建設備工業株式会社**  
空気と水の環境創造企業  
本社 東京都中央区新川一丁目二五  
代表取締役 長松 井栄一  
電話(03)6271-0175(代表)

**三機工業株式会社**  
快適環境を創造する総合エンジニアリング  
本社 東京都中央区明石町八丁目  
代表取締役 長谷川 勉  
電話(03)6271-0175(代表)

Kinden  
**きんでん**  
空調・衛生・クリーンルーム設備 設計・施工  
本社 東京都港区浜松町一丁目二五  
代表取締役 高須 康有  
電話(03)6455-1111

一般社団法人  
**日本設備設計事務所協会連合会**  
九州・沖縄ブロック協議会会長 藤井 修  
一般社団法人 福岡県設備設計事務所協会 会長 庄司 雅之  
一般社団法人 佐賀県設備設計事務所協会 会長 承山 孝吉  
一般社団法人 長崎県設備設計事務所協会 会長 濱谷 雄二  
一般社団法人 熊本県設備設計事務所協会 会長 藤山 豊  
一般社団法人 大分県設備設計事務所協会 会長 矢野 久  
一般社団法人 宮崎県設備設計事務所協会 会長 岩瀬 満弘  
一般社団法人 鹿児島県設備設計事務所協会 会長 植村 直哉  
一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会 会長 安谷屋 幸助  
事務局 福岡市中央区天神2-3-10(天神バインクレスト622号)  
電話(092)713-5188

# 日本の風土に根差す

## てい談

**野部** われわれのよきな「ジョー」アリンクの世界は、まだ歴史が浅く、時間軸をどうしたか考え待たねばなりません。そのよきな、将来予測がいきなり唐突なものになり、連続性が考えられない。振り返らないから将来も分からないという状況です。

**那須原** わたしが勤める清水建設は、渋沢栄一翁の「論語と算盤」を社是としています。論語にも算盤にも、人格形成と利益のバランスが重要なことだ。その論語の中にも「温故知新 昔のことはすねて、ここから新しい知識・見解を導き出す」と出てきます。

**藤島** スポーツの勝負論でもこれは出てくると思います。国立高校の教員が東大に進み、ラグビー部に入りました。当時の東大ラグビー部は、猛練習で泥臭い単純な戦法を採用していました。ある時、教員たちが私に相談に来ましたが、その戦力ならば「マン・オブ・ザ・マッチ」です。その単純な戦法を、私が「いい」と言いました。彼は驚愕しました。その中の一人が「先輩たちは熱意の末にこの戦法に行き着いたが、僕はそれを練習の要としていたからだめだ」と言っていました。

の子たちに合わない。これも際で、とても良い塾のすい先生も、かねて、勉強でそれをうまく使っているのではないかと思います。

**野部** 建設業も同じで成熟産業となり、いわゆるルーチンワークが多くなりました。そんなと失敗させないようマニュアルがつけられます。若い人は失敗経験が少なく、小さな失敗に怯みます。だから、時代は、若い人が自分で考えて動く環境で、失敗は上役がフォローする。これも、あつんの呼吸ではないでしょうか。

**藤島** 例えはミスをしたら、あくまでもスポーツの文脈の中で、怒る。その人自体を否定しては、けではありません。



**野部** いまの若者は、押しに弱い。過保護にコンプライアンスの塊のような教育を受けて、否定的なことを親や学校、友だちにも言わない。そんな環境から実務に入り、厳しい局面になったときが心配です。せひ、スポーツでタフネスを養ってほしい。テクノロジーが進んだことで人間が幸せになるかという、少し懐疑的です。痛みを感じないパーチャルな世界で手応えを得ようとしてもむなしではないか。スポーツや建設業のようなものづくり、実体はこの先も残さなければなりません。

**藤島** ラグビーでも強い高校は充実していますが、普通の公立高校は空洞化しています。日本の強みは真ん中の層にある。例えば中学のころ通信簿がオール3だった人たちが、しっかりしかりました。いまは、できる人とできない人に早い段階で分けてしまふ。万事が二極化しています。

**那須原** いろんな人がいて、社会の縮図のようになっていて、さきほどの勝ちにこだわるという話の中で、私は63歳ですが、昨年か60歳以上のバスケットボールの大会に出場しています。1年に2回ある全国大会に向けて、みんなが真剣に練習して緊張感ある試合に挑み、勝つに負けたで一喜一憂する。この年齢でこれほどバスケットボールをプレーする楽しさが充実するとは想像していませんでした。

**野部** スポーツには、勝利という喜び、うれしさの瞬間の爆発を味わうために、日々の苦役があるのではないかと思います。よへ、負けても負けがある、というの、勝利を目指したから、最初から負けてもいいと思える人は、負けて学ぶことはできません。

**野部** 人間の感受性は、喜怒哀楽の物差しが長いほどいい。短いと、うら性がなくなります。いま、学校

の教育でもつらいこと、嫌なことばやめよ、かわいそうな状態を排除しようという方向が多々、喜ぶも中途半端になっていきます。

**藤島** 伝統がある学校などは、夜中行進や遠泳などの伝統行事があります。スポーツも一緒で、ある種の試練を乗り越えることで人間を必ず成長させる機能があります。

**那須原** いろいろな試練を乗り越えることも、普段が何でも楽になりすぎると、会社の業務も楽に感じられるのではないのでしょうか。

**藤島** そこは人間ですね。でも、とても人間の仕事をしたいと思います。野部 本当はマニュアルどおりではなく、人が気づかないところ、気づけるかという配慮の仕事なのではないでしょうか。

**藤島** 先日、国立高校ラグビー部の教員だった建築家に建築設備の仕事を探らたら、「多岐にわたりますが、ビルのお医者さんです」と言っていました。大事にしていることは「すべに気づくこと意識だ」と返っていました。

**野部** われわれの根底にはフェアネスがあります。気がついても見ぬふりをすると、産業そのものが終わってしまう。勇気を持ち、自分の正義を貫き、お客さんに満足を提供し、やりがいを得る世界にしていきたい。

**タフネスを育成**

藤島 子どもに教えるときに、一人ひとりの子で大切に、愛を持って、尊敬を大切にすることを指導すると、その子たちは伸びます。

那須原 昔からの練習が、そこそこだけオリジナルのころを考へてアール3の指導力の差だと言われます。それが個性であり、伸び代を伸ばさなければいけません。

藤島 目の前にあるものを大切に愛して、それは必然的にオリジナルな練習になります。他所を真似てもい

**一瞬の爆発味わう**

野部 いまの若者は、押しに弱い。過保護にコンプライアンスの塊のような教育を受けて、否定的なことを親や学校、友だちにも言わない。そんな環境から実務に入り、厳しい局面になったときが心配です。せひ、スポーツでタフネスを養ってほしい。テクノロジーが進んだことで人間が幸せになるかという、少し懐疑的です。痛みを感じないパーチャルな世界で手応えを得ようとしてもむなしではないか。スポーツや建設業のようなものづくり、実体はこの先も残さなければなりません。

**フェアネス根底に**

藤島 スポーツの一番のおもしろさは、限られた時間と空間に人間の喜怒哀楽が凝縮することであり、それはスポーツと競争にしかないという写真家もいます。

野部 藤島さんはライターとして、瞬間のドラマを文字に定着し、スポーツを文化にされています。残念ながらわれわれの業界には文字にする人がいないため、技術はあってもなかなか文化にはなりません。今後、その方向を伸ばさないと、人が入ってこなくなるのではないかと心配しています。

藤島 よく「文明は滅びるが、文化は滅びない」と言われますが、スポーツも同じです。二例を挙げると、

**五感で異常を感じ**

那須原 野部先生は『建築設備を文化に高めたい』といつも言っておられます。

野部 文化にすること、もう少し余裕を持たせたい。気づきの仕事だから、余裕が必要で、われわれは機械室を歩き、五感で異常を感じます。いまはデータを見なければ分からない。そこで気づきが後れてしまふ。日本の風土に根差した業界なので、日本独自のスポーツ文化は参考になると思います。

# 気づきの仕事だから余裕が必要



国土交通大臣 石井 啓一

## 高度な専門知識と技能に期待

建築物はわれわれの生活や経済活動の基盤ですが、空調や給排水・電気といった建築設備がなくては、快適な生活や効率的な経済活動ができません。建築物に備える空調・高度な専門知識と技能に期待する中で、建築設備が果たす重要性が高まっています。

（昭和60）年に建築設備に関する知識及び技能について建設大臣が定める資格制度として創設されました。それ以降、技術の発展に伴って多様なニーズに対応するための建築設備の高度化・複雑化が進み、その重要性が高まっています。

さらに、17（平成29）年4月に施行された建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律により創設された建築物エネルギー消費性能適合性判定においても、判定員となる資格として建築設備士が位置づけられました。

役割はますます大きくなってきています。このような建築設備に対する高度な専門知識を持って業務に取り組んでおられる建築設備士は、深く敬意を表します。

建築設備士は、1985年（昭和60）年の建築士法改正により、「建築設備士」という名称が法律に位置づけられるとともに、大規模な建築物の設計に際しては建築設備士の意見を聴くことが努力義務化されました。

このように、多様化・複雑化する社会のニーズへの対応だけでなく、地球温暖化対策の観点からも、建築設備士に寄せられる社会的な役割や期待は、大変大きなものとなっております。

建築設備士の皆さまには、引き続き、新しい知識の取得・技術の向上など日々の取り組みを進めていただきたいと思います。

結び、建築設備士各位のますますの活躍と、ご健康・ご発展を祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

**11月18日は「建築設備士の日」**

設備の専門技術者である「建築設備士」は、建物の設備設計を行い建築における環境づくりをはじめとして社会に広く貢献をされている。建築設備技術者協会では、そのことを消費者に知ってもらうため、建築設備士資格者を定める告示（建設省告示第1526号）の交付日である11月18日を「建築設備士の日」として制定して各地で記念事業を開催している。

建築設備士制度は、建築設備（空調・換気、給排水衛生、電気など）の高度化・複雑化が進みつつある中で、建築設備に係る設計・工事監理においてもこれに対応するために創設された。（公財）建築技術教育普及センターが建築設備士試験を実施している。

**建築設備士の日 記念行事**

- ▷11月20日午後3時～5時、芝浦工業大学 豊洲キャンパス・交流棟6階大講義室
- ▷午後3時～会長表彰
- ▷午後3時15分～環境負荷低減事例発表・第6回カーボンニュートラル大賞受賞業績「雲南市役所新庁舎におけるZEBの

実現」日本設計  
▷午後4時～記念講演会「共生社会実現への道」～パナソニックの成功に向けて～講師・高橋秀文氏（日本障がい者スポーツ協会常務理事、日本パラリンピック委員会副委員長）

<p><b>株式会社 産研設計</b> 代表取締役 藤井 修 船 浩 本社 福岡市博多区博多駅前1-1-1 電話 (092) 263-6575 FAX (092) 263-5713 事務所 東京・大阪・広島・沖縄</p>	<p><b>株式会社 エステイ設計</b> Design by Sustainable Technology 代表取締役社長 庄司 雅之 〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目3-11 (HCUビル大手門ビル2F) 電話 (092) 771-9194 ISO9001認証取得 http://www.st-p.co.jp/</p>	<p><b>伊藤喜三郎建築研究所</b> K.I.T.O Architects&amp;Engineers Inc. 代表取締役社長 原 勇次 本社 東京都豊島区高田2-17-22 03-5954-7681 支店 仙台・大阪・九州 http://www.k-i-to.co.jp</p>
<p><b>株式会社 トーホー設備設計</b> 代表取締役 鶴田 明 代表取締役 伊集院 宏祐 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前3丁目19-22 TEL (092) 471-1557 (代) FAX (092) 474-8305 ホームページURL www.tohoseiki.jp</p>	<p><b>東畑建築事務所</b> 代表取締役社長 米井 寛 本部 本社 大阪府大阪市東淀川区東中島2-6-10 電話 06(6202)0391 本社 大阪府大阪市東淀川区東中島2-4-3 電話 03(3581)1251 支社 東京・大阪・名古屋・九州・福岡 http://www.tohata.co.jp</p>	<p><b>株式会社 総合設備計画</b> 代表取締役社長 中島 一則 本社 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-22-2 電話 (03) 3805-6633 FAX (03) 3805-6643 事務所 東北・札幌・名古屋・大阪・九州・北京</p>
<p><b>株式会社 濱谷設計</b> HAMATANI SEKKEI 代表取締役 濱谷 雄二 〒852-8155 長崎市中区中国町15-7 電話 (095) 848-5704 FAX (095) 848-6598 URL http://www.hamatanisekkei.co.jp/</p>	<p><b>安井建築設計事務所</b> 代表取締役社長 佐野 吉彦 本社 〒540-0034 大阪府中央区島町2-4-7 TEL:06-6943-1371 支社 大阪・東京・名古屋・広島・九州 www.yasu-archi.co.jp</p>	<p><b>株式会社 ピーエーシー</b> 代表取締役 武井 一義 本社 東京都台東区浅草橋4-2-2 電話 (03) 5809-2630 (代) 支所 仙台・長野・名古屋 URL http://www.pac-tech.co.jp</p>
<p><b>株式会社 トーエネット</b> 代表取締役 大野 智彦 名古屋市中区栄一丁目二〇一 電話 051-211-1111</p>	<p><b>中央電気工事株式会社</b> 代表取締役 加藤 大策 本社 名古屋市中区栄三丁目二二 電話 051-211-1111</p>	<p><b>高砂丸誠エンジニアリングサービス</b> 代表取締役 一治 本社 東京都中央区京橋二丁目二二 URL http://www.tokosai.co.jp</p>
<p><b>株式会社 トーエネット</b> 代表取締役 大野 智彦 名古屋市中区栄一丁目二〇一 電話 051-211-1111</p>	<p><b>富士古河E&amp;C株式会社</b> 代表取締役 日下 高 本社 神奈川県川崎市幸区堀川町五八〇番地 電話 044-548-1450 (代表)</p>	<p><b>高砂熱学工業株式会社</b> 代表取締役 大内 厚 本社 東京都新宿区新宿六丁目二七 電話 03-636-6918</p>
<p><b>株式会社 トーエネット</b> 代表取締役 大野 智彦 名古屋市中区栄一丁目二〇一 電話 051-211-1111</p>	<p><b>日本電設工業株式会社</b> 代表取締役 土屋 忠巳 本社 東京都台東区池之端一丁目二二 電話 03-3822-1888 (代表)</p>	<p><b>ダイダン株式会社</b> 代表取締役 藤澤 一郎 本社 東京都新宿区新大塚二丁目二〇 電話 03-636-6918</p>